

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ラベンダー		公表日			R8 年 7 月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースに対しての定員数を守っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員は、基準値の配置をしている。 安全性、専門性を高く保てるよう、保育士等の有資格者を多く配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ロッカーや靴置き場には、名札や絵カードを利用し、洗面台の前にも、足形を置いて整列しやすいよう工夫している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、掃除・消毒を行い、定期的にエアコンや換気扇の業者にも来てもらっている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		支援は、全て同じ教室で行っています。 集中力が途切れやすいお子さまには、マット等を利用して、環境設定を行っている。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		まずは、個別で話し合い、気になることがあった際には、翌朝の朝礼で伝えるようにしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者よりでた意見を、職員間で話し合い、なるべく改善に繋げていけるように努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		随時、職員で話し合い、なるべく改善に向けて取り組んでいる。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者委員会は設置していません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員は、外部研修に参加して、事業所内で研修や報告を行っています。	今後も、職員の知識の向上に向けて、外部研修等を積極的に参加していきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月、お便りにプログラム内容や予定表を解りやすくまとめて、保護者に公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子どもをアセスメントを適切に行い、保護者様からの意見等もいただいた上で、客観的に分析した計画書を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管だけではなく、子ども達を支援している職員とも話し合った上で、それぞれの子どもに適した計画書を作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書が完成したら、随時、朝礼時に計画書の内容を具体的に伝えて、職員間で一貫した支援が取り組めるよう工夫している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子ども達が受けていれば発達検査なども、参考にしますし、日々の行動観察のアセスメントもしっかりと行っています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者のニーズやそれぞれの子ども達の発達状況に合わせて「本人支援」「家族支援」「移行支援」等の項目に対し、具体的な内容を設定しています。	地域連携にも参加し、地域の方々とも触れ合う機会や参加する機会をつくっていきたいと考えています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		運動や手先等の課題、イベント、集団遊びなど、各種担職員がテーマを考え、会議で話し合い、チームで行っています。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムは、毎月固定されないように、療育に特化したプログラムを毎月いろいろと組み合わせています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別での支援、集団での支援、其々のねらいを組めるよう、計画書を作成し、支援に携わらせていただいています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、それぞれの職員が役割分担を担い、毎朝、一日の流れや子ども達への支援プログラムなどを話し合って療育に携わっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後は、職員間で話し合い、改善に向けた話し合いをしています。	個々の話し合いで終わってしまうこともあるため、翌朝の朝礼後に前日の振り返りを行っていききたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		課題での子どもの様子を記録し、子どもの現状を把握したり、モニタリング時にも振り返れるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回は、モニタリングを行い、子どもの現状把握と適切な支援を行えるように努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談員から連絡があった際や、子ども達の様子気になる時には、情報を共有できるようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に、保育園や幼稚園へ見学に行き、連携をとらせていただいています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		気になるお子さまがいた場合は、行っている。	もう少し、幅広いお子さまに対し、定期的に、見学にいて、情報共有や相互理解ができるよう機会をつくっていききたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校から連絡がきたり、保護者様から依頼があった際には、連携をとらせていただいています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		気になる子がいれば、センターとも連携を図り、助言をいただけるよう機会をつくっていききたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在は、時間的に地域の保育園や幼稚園へ参加するのが難しい。その他、現在の利用時は、幼稚園・保育園に通われている。	もし、お子さまで地域の幼稚園や保育園を検討したいお子さまがいれば、交流の機会をつくっていききたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の様子は、連絡帳や送迎時に伝え、保護者様と共通理解ができるように努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		お家で困りの保護者様がいらっしゃる場合には、必要に応じ、事務所でペアレント・トレーニングをさせて頂いています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学や契約時に、ご説明させて頂いています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様のご意見を尊重しながら、子ども達の強みや好きなことも取り入れて、個別支援計画書を作成しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		送迎時に直接お渡しし、その都度ご説明させて頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談があった際には、お電話や面談を行い、アドバイスや助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在は、父母会等は、行えていませんが、今後、夏祭りやハロウィン、クッキング等を利用して、1 習慣をとおり、父母会を開催していきたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご相談があった際には、一度事業所に持ち帰り、職員間で相談した後に、できるだけ対応できるよう取り組む努力をしています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		保護者様には、お便りや写真で活動の様子をお伝えさせていただいています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、外部に漏れないように十分留意しています。書類等は書庫で保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		解りづらい内容等についてはメモではなく、直接お電話等で解りやすく説明させていただいています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、大学や老人ホーム等の方との交流を作り、地域の方に開かれた事業所として運営していきたいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定しています。定期的に見直し、変更があった際には、マニュアルの変更も行い、職員研修を行っています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		専門の方にBCPを見直してもらい、事業所に合ったものを策定しています。毎年、定期的に研修や訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のフェイスシートに記入してもらい、把握しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがあるお子さまには、病院でのアレルギー検査表を提出してもらい確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎年、安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っています。（教室、駐車場、送迎車、物品等の点検。散歩コース、避難訓練、緊急連絡先等）	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		訓練実施は、連絡帳に記載しています。お便りにも記入し、保護者様へ周知させていただいています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故に繋がりそうになった際には、ヒヤリハットを作成して、職員間で話し合い、再発防止に向けた取組を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年、虐待防止の研修を行い、毎日適切な関りができるよう努めさせています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		原則、身体拘束は行わないことを徹底していますが、やむを得ず必要になった場合には、委員会で話し合い、保護者様の合意を得ること、書類記入の仕方等を話し合っています。	